

競技注意事項

1 競技規則について

- (1) 本大会は2025年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。
- (2) 2025年度世界陸上競技連盟(WA)競技規則を適用する(ワールドランキングコンペティション(WRk)申請大会)。ただし、男女10000mWは適用外とする。
- (3) 競技会における広告および展示物に関する規程は国内規程を適用する。

2 練習について

- (1) 練習会場及び競技場では、逆走、チューブ・牽引ロープ等の器具を使った練習、レーン内にミニハードル・マーク等を置いて行う練習は、危険防止のため禁止とする。
- (2) 投てき練習は危害予防に特に留意すること。投てき場以外での投てき練習は禁止する。
- (3) 投てき競技においては必ず競技役員の指示に従って練習すること。
- (4) 走路の使用は原則として次の通りとする。状況により変更があるときは係員の指示に従うこと。

◎メイン競技場	◆ 1～2レーン：中長距離	◆ 3～7レーン：短距離	◆ 8～9レーン：ハードル
	※練習可能時間は開門時刻～9：00まで		
◎補助競技場	◆ 1～2レーン：中長距離	◆ 9～10レーン(ホームストレートのみ)：100mH と 110mH	
	◆ 3～6レーン：短距離(スタートダッシュはホームストレートスタート地点)		
	※ホームストレートは5～8レーンも使用可		
	◆第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路にかけての7～8レーン：400mH		
◎雨天練習場	◆ 1～2レーン：スタート練習	◆ 3～4レーン：快調走	◆ 5レーン：復路
	◆ 6レーン：待機場所		
	※走方向については、南(1500m スタート地点)⇒北(200m スタート地点)の一方通行とします。(厳守)		

3 招集について

- (1) 招集所は、本競技場メインスタンド下の室内練習場(100mスタート側)に設ける。防風ゲート(100mスタート地点後方)の扉から出入りすること。
- (2) 招集に関する時刻は下表のとおりとする。

種目	予選		準決勝		決勝	
	開始	終了	開始	終了	開始	終了
トラック	30分前	20分前	30分前	20分前	30分前	20分前
フィールド					60分前	50分前
フィールド(棒高跳)					70分前	60分前
混成競技					30分前	20分前

*混成競技の招集は、第1日及び第2日の最初の種目のみ招集所で行う。各日2種目目以降は混成競技役員の確認を受け指示に従うこと。

- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したとみなして処理する。
- (4) 招集の手順について

- ア 競技者は、招集開始時刻に招集所で待機し、最終確認を受けること。その際、アスリートビブス、名前、校名、スパイク、衣類、持ち物等の点検を受けること。
- イ ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内に持ち込むことはできない。
- ウ 代理人による招集の最終確認は認めない。多種目を同時に兼ねる競技者は多種目同時出場届を競技者係(招集所)に提出し、競技進行に支障のないようにすること。
- エ 欠場する場合は当該種目の招集開始時刻までに欠場届を競技者係(招集所)に提出すること。
- オ リレーオーダー用紙について、あらかじめ招集所で受け取り必要事項を記入し、各ラウンドの第1組の招集完了時刻の1時間前までに競技者係(招集所)に提出すること。(準決勝、決勝も同様)
- カ 多種目同時出場届、欠場届、リレーオーダー用紙は招集所に用意する。
- キ アスリートビブスについて

- (ア) 所定の大きさのままで胸と背にはっきり見えるように付けること。ただし、跳躍種目については胸または背のみに付けるだけでもよい。
- (イ) トラック種目に出場する競技者は、腰ナンバー標識を競技役員から受け取り、右腰臀部に付けること。ただし、4×100mRの第1・第2・第3走者及び4×400mRの第1走者は使用しない。また、4×400mRの第2・第3走者は左腰臀部に付けること。5000m、10000m及び10000mWにおいては、周回の確認のため、トランスポンダ付きの腰ナンバー標識を使用する。トランスポンダ付き

の腰ナンバー標識は左腰臀部につけ、通常の腰ナンバー標識は右腰臀部につける。

- (ウ) 混成競技の最終種目では、それまでの総合順位の上位者から順に別ビブスをつけ、右腰臀部にはレーン番号の腰ナンバー標識を付けて競技する。

ク 競技用靴について

- (ア) スパイクは全天候舗装用で 11 本以内とし、長さは 9 mm 以下とする。走高跳とやり投の場合は 12 mm 以下とする。
- (イ) 靴底の最大の厚さは下表のとおりとする。

種 目	シューズ底の厚さ
8 0 0 m 未満の種目 (ハードル含む)	2 0 mm 以内
8 0 0 m 以上の種目	2 0 mm 以内
跳躍種目、投てき種目	2 0 mm 以内 (前部が踵より厚くなってはならない)
競歩	4 0 mm 以内

《参考》WA が承認した競技用靴リスト <https://certcheck.worldathletics.org/FullList>

- (ウ) 審判長が疑義をいただいた場合、競技開始前、競技中または競技終了後に競技用靴の検査を行う場合がある。

ケ 競技実施場所の入退場は競技役員の指示に従うこと。また、トラック種目を終えてスタート地点に戻る場合は、競技場外または芝スタンド下ダッグアウトを通ること。

- (5) 学連登録時の氏名と番号がプログラム上のそれと異なり、主催者側に過失が認められない場合は、競技に出場できないことがある。

4 欠場について

- (1) 欠場については、大会の権威と運営の円滑化のため極力避けること。
- (2) やむを得ず欠場する場合は、欠場届 (大会受付及び招集所に用意) に監督がサインをし、招集開始時刻までに競技者係に提出すること。
- (3) 無断で欠場した場合、その競技者は以降の出場を認めない。

5 競技の抽選ならびに番組編成について

- (1) トラック競技の予選のレーン順及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載の順序による。
- (2) トラック競技の準決勝・決勝の組合せ及びレーン順の決定は主催者で行う。トラック競技の次のラウンド進出者を決める際に同成績があった場合、次の方法で選出する。
- ① 800m 以下およびレーン競技での同成績の競技者は、レーンに余裕があれば次のラウンドに進出できる。レーンに余裕の無い場合は、該当競技者または代理人によって抽選をする。
- ② 1500m については、同成績の競技者は全て次のラウンドに進出できる。
- (3) 男女 5000m、男子 10000m、男子 3000mSC はタイムレースで行う。
- (4) 予選において欠場者が多く、9 名以下になった場合、予選を取りやめ決勝の時刻に決勝レースを行う。

6 競技について

- (1) アスリートビブスは本年度登録番号を使用し、胸および背中に確実につけること。ただし、跳躍種目に関しては、胸または背中のいずれか 1 枚つけるだけでも良い。
- (2) トラック種目について
- ア 短距離種目では、安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自己レーン (曲線路) に沿って進むこと。
- イ 不正スタートについて、混成競技を除き、一度の不正スタートでその責任を有する競技者は失格とする。混成競技においては各レースで 1 回目の不正スタートは失格にならないが、その後不正スタートをした競技者は全て失格とする。
- ウ 4×100mR の第 2・第 3・第 4 走者は、主催者が用意するマーカーを 1 か所使用することができる。マーカーは競技者係が招集所で渡し、そのマーカー以外使用してはならない。
- エ 5000m 以上の種目では、競技実施当日の気象条件 (気温、湿度) 等を考慮し、安全と健康管理上の判断で給水を行う場合がある。なお、この給水に使用する水、コップは主催者が用意する。
- (3) フィールド種目について
- ア 跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側 (走高跳は助走路内) にマーカーを 2 個まで置くことができる。サークルで行う投てき競技の競技者は、マーカーを 1 個だけ置くことができる。このマーカーはサークル直後あるいはサークルに接して置くこと。マーカーは主催者が用意し、そのマーカー以外は使用してはならない。

イ 高さの跳躍のバーの上げ方は下表のとおりとする。(天候等により変更する場合がある)

種目	練習	1	2	3	4	5	以後 1 人になるまで
男子走高跳	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	3cm ずつ
女子走高跳	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	3cm ずつ
男子棒高跳	3m40	3m60	3m80	4m00	4m20	4m30	10cm ずつ
女子棒高跳	2m00	2m20	2m40	2m60	2m80		以後 10cm ずつ

*男子走高跳は登録記録で均等に 2 ピットに分け、同じ高さから始める。2 ピット間でできる限り、同じ高さで進行するようにする。

ウ 混成競技における跳躍のバーと上げ方は下表のとおりとする(天候等により変更する場合がある)

種目	練習	以後 1 人になるまで
男子走高跳	1m45	1 回目の高さを 1m50 とし、以降 1 人残るまで 3cm ずつ
女子走高跳	1m25	1 回目の高さを 1m30 とし、以降 1 人残るまで 3cm ずつ
男子棒高跳	2m60	1 回目の高さを 2m80 とし、以降 1 人残るまで 20cm ずつ

*混成男子走高跳は競技開始前に記録を申請してもらい、上位と下位の 2 ピットに分けて実施する。原則として、両ピットもとも練習の高さは上記通りに揃えるが、進行についてはそれぞれのピットに任させる。なお、2 ピット間に著しい記録差があり、練習の高さが不適切である場合には、上位記録のピットにおいて選手の了承を得た上で変更してもよい。

エ 走幅跳は 2 ピットで実施する。(混成女子を除く)

オ 三段跳の踏切板は、砂場からの距離を男子は資格記録によって 1 3 m 及び 1 1 m、女子は 9 m とする。

- (4) 同時申し込みについて、WR k 対象種目には競技規則 (TR) 4.3 を適用する。(《抜粋》試技を行うべき順序の際に競技者が不在の場合は、その試技時間が過ぎればパス扱いとする。)

7 競技用具について

- (1) 競技用具は競技場備え付けのものを使用する。
- (2) 棒高跳のポールは個人所有のものを使用できる。
- (3) 投てき用具については次の通りとする。

ア 個人所有のものを使用する場合は、日本陸連検定品かつ WA 認証品のみとする。

イ アについて、WA 認証品かどうかの証明は、持ち込んだ競技者が行うこと。

ウ ア及びイについて、投てき用具の検査は、原則、競技開始 1 時間 5 0 分前から 1 時間 3 0 分前までの間に本競技場南側器具庫 (フィニッシュ側) 内で行う。その投てき用具は検査後から競技終了までは主催者側で預かる。

8 表彰について

- (1) 各種目上位 3 位までに入賞した競技者は表彰式を行う。結果の正式発表後ただちに (本人が他種目に出場の場合は代理人が) メイン競技場ロビーの表彰控室に集合すること。表彰時の服装は競技用ユニフォームを原則とする。
- (2) 4 位～8 位の入賞者は表彰控室にて賞状を受領すること。
- (3) 各種目得点は 1 位 8 点、2 位 7 点以下 6 点、5 点、4 点、3 点、2 点、1 点とする。同順位が複数 (n) 生じた場合は順位点の合計を n で除した得点とする。
- (4) 学校対抗得点で男女とも総合 1 位の学校に優勝杯を、3 位までの学校に賞状を授与する。また、トラック、フィールド部門で男女とも得点 3 位までの学校に賞状を授与する。
- (5) 男子最優秀選手またはリレーチームに菅沼賞を、女子最優秀選手またはリレーチームに川村賞を授与する。

9 その他

- (1) メインスタンドでの集団応援は、大会運営に支障をきたす場合があるため禁止する。その他の場所においても、フィールド種目の進行の妨げとなるような応援はしないこと。
- (2) 動画・写真の撮影については、メイン・サイド・バック各スタンドを問わず、その中段通路よりも上側で行うこと (ただし、試技に係るコーチ席及び表彰に係る指定された区域を除く)。それ以外においても、競技者保護の観点から厳しく対応する場合がある。(撮影した画像の確認、警察への通報等)
- (3) 日傘を使用しながらの観覧・応援等については、メイン・サイド・バック各スタンドを問わず、その中段通路よりも上側で行うこと。(後方観覧者等の妨げになるため)

- (4) シートや荷物等を使つての観客席の場所取りは禁止する。メインスタンド裏コンコースはシートのみの場所取りは認める(テントは禁止)。節度を守り、通行等の妨げにならないようにすること。
- (5) 医務員は本競技場メインスタンド下の医務室(フィニッシュ側)で待機している。大会出場中の急病・事故については応急処置を行うが、それ以外の責任は負わない。
- (6) 当日の記録・番組編成は本競技場正面玄関付近の掲示板に掲示する。(鳥取陸協 WEB サイトにおいても速報する。《URL》<https://jaaf-tottori.com/sokuhou/nans2lv/shtml/TimeTable.html>)
- (7) 貴重品の管理は各校・各自で行うこと。紛失の責任は負わない。
- (8) ゴミは各校・各自で持ち帰ること。

競技場会場及び閉場時刻

前 日	5 月 8 日 (木)	開場：13 時 00 分	閉場：17 時 00 分
第 1 日	5 月 9 日 (金)	開場：7 時 30 分	閉場：18 時 30 分
第 2 日	5 月 10 日 (土)	開場：7 時 00 分	閉場：18 時 00 分
第 3 日	5 月 11 日 (日)	開場：7 時 00 分	閉場：16 時 00 分